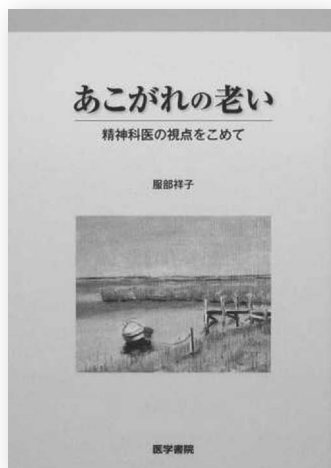




あこがれの老い

精神科医の視点をこめて

服部祥子＝著

本体 2,000 円＋税／B6 判・280 頁／医学書院／2008

「思春期の発達と危機的状況」(p.312)をご執筆の服部祥子先生が、老いの豊かさ、味わい深さ、老いの醍醐味を論じる。

人生の究極で問われる、それぞれの生き方——。精神科医としての 40 年の臨床経験のなかで出会った人々のエピソードを語りながら、成熟の輝きを放つ先人たちの 12 章にわたって紹介する。人は生涯にわたって成長・発達し続けるものであるとする著者による人間讃歌。高齢者ケアを専門とされる方々に、またやがて訪れる自らの「老い」に思いを巡らす方々にもぜひ読んでいただきたい。